

上越市国民健康保険第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）・第4期特定健康診査等実施計画（案）の概要について

1 計画の概要

(1) 計画改定の趣旨・目的

「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」（平成16年厚生労働省告示第307号）において、保険者（市町村）はデータヘルス計画を策定し、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施及び評価を行うこととされている。

令和6年度を始期とする第3期データヘルス計画の策定に当たっては、国が示す計画策定の手引きに基づき、県内の共通指標を設定するなど計画の標準化を推進する。また、被保険者の健康寿命の延伸、健康格差の縮小及び医療費の適正化を目指し、特定健康診査受診率・特定保健指導実施率の向上や生活習慣病の重症化予防等に取り組む。

(2) 計画の位置付け

上越市第2次健康増進計画等との整合性を図りながら、以下の2計画を一体的に策定するもの

① 保健事業実施計画（データヘルス計画）

「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」に基づき、レセプトや健診情報等のデータの分析に基づいて健康課題を明確化し、健康・医療情報を活用しながらPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施に関する計画を定めるもの。

② 特定健康診査等実施計画

高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号）第19条の規定に基づく特定健康診査及び特定保健指導の具体的な実施方法を定めるもの。

(3) 計画の期間

計画期間は、令和6年度から令和11年度までの6年間とし、中間年に当たる令和8年度に中間評価を行う。

上越市国民健康保険の現状

○被保険者数は減少傾向

- ・被保険者数は、人口減少や被用者保険の適用拡大の影響等により減少しており、令和6年度以降も減少が続く見込み（R4：33,481人→R11見込：22,435人（△33.0%））
- ・前期高齢者（65歳～74歳）が全体の約6割を占めており、平均年齢は上昇傾向

○高齢化に伴い1人当たり給付費は増加傾向

- ・1人当たり医療費は年齢が高くなるほど高い傾向にあり、高齢化に伴い国保全体の1人当たり給付費は増加傾向（H30：340,462円→R4：364,281円（+7.0%））

2 計画の基本方針と目標

(1) 計画の基本方針

【基本方針】

健康寿命の延伸、健康格差の縮小、医療費の適正化

(2) 計画の目標

▼目標1

【中長期目標】脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症による透析の総医療費に占める割合を減少させる。

第2期計画の評価を踏まえ、医療費が高額となる疾患及び介護認定者の有病状況の多い脳血管疾患、虚血性心疾患、慢性腎不全（透析）の総医療費に占める割合の減少を目指す。

▼目標2

【短期目標】特定健診受診率、特定保健指導実施率の向上により、メタボ該当者、重症化予防対象者を減少させる。

健診の機会を提供し、個人の状況に応じた保健指導の実施により生活習慣病の発症予防・重症化予防につなげるため、特定健診受診率及び特定保健指導の実施率向上を図り、メタボ該当者や生活習慣病の重症化予防対象者の減少を目指す。

▼目標3

【短期目標】脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の発症を予防するため、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の対象者を減少させる。

脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症の血管変化による共通のリスクとなる高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の対象者の減少を目指す。